

愛知製鋼グループ社員が、東浦自然環境学習の森竹林整備活動を実施

愛知製鋼株式会社(代表取締役社長:後藤尚英)は、2月7日(土)、愛知県知多郡東浦町「東浦自然環境学習の森」で竹林整備のボランティア活動を実施し、総勢12名が参加しました。

愛知県知多郡東浦町には、当社拠点の東浦工場が所在しています。また、「東浦自然環境学習の森」には、カブトムシやキツネが多く生息しており、里山保全活動による地域の生物多様性・自然環境保全への貢献として、2019年より連携してボランティア活動に取り組んでいます。

当日は、当社・グループ会社の社員・家族12名と、地域行政の職員の3名が参加し、「東浦自然環境学習の森」で竹林伐採や伐採竹の運搬作業などの竹林整備作業を行いました。

今後も当社は「環境に一番やさしい鉄屋」として、再エネの活用や地道な省エネ活動、技術開発などの取り組みに加え、地域環境を保護するボランティア活動を継続し、持続可能な地球環境への貢献を目指していきます。



森林の間伐作業の様子



ボランティア参加者の集合写真